

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

| 分野                         | 景気の先行き判断 | 業種・職種               | 景気の先行きに対する判断理由   |
|----------------------------|----------|---------------------|--|
| 家計<br>動向<br>関連<br><br>(沖縄) | ◎        | 百貨店（店舗企画）           | ・前年は4～5月に掛けて休業を行った経緯から、その反動はもちろんあるが、前年できなかった催事関連も強化し、好調を維持したい。   |
|                            | ○        | コンビニ（経営者）           | ・新年度に入ると来客数が増えて売上が期待できるので、景気は良くなると思われる。  |
|                            | ○        | コンビニ（副店長）           | ・緊急事態宣言解除を受けにぎわいを取り戻しつつあるが、直近の新型コロナウイルス感染者数はまん延期並みの数値が懸念される。あとはワクチン接種が来月どこまで行き届くかと、緊急事態宣言再発出によるかと考える。  |
|                            | ○        | その他サービス [レンタカー]（営業） | ・予約受注状況は悪いながらも以前と比べ伸び率は改善傾向にあり、今後は国の観光施策等も実施されることを期待したい。   |
|                            | ○        | 住宅販売会社（役員）          | ・不動産の問合せが賃貸物件、売買物件共に多くなっており契約件数も徐々に増えている。  |
|                            | □        | スーパー（企画担当）          | ・新型コロナウイルス禍の影響で先行き不透明感があるせいか、節約志向が継続するものとみられる。   |
|                            | □        | スーパー（販売企画）          | ・2か月後から新規競合店の影響が一巡するので前年比での条件が同じになるが、それでも新型コロナウイルス禍では消費マインドの低下は否めないため、やや厳しい状況は変わらないと考えられる。   |
|                            | □        | コンビニ（経営者）           | ・沖縄への来県者も増加傾向にあることで景気回復の可能性も感じるが、緊急事態宣言解除のあと新型コロナウイルス感染者が急増している状況があり、第4波到来、時間短縮の要請も視野にあることで今以上の期待はできず、更に悪化する可能性もあるとみられる。                                       |
|                            | □        | コンビニ（代表者）           | ・新型コロナウイルスの新規感染者数に大きく左右される。ワクチンが行き渡るまでは景気は安定しないと判断する。  |
|                            | □        | 衣料品専門店（経営者）         | ・今月も、緊急事態宣言の影響か、客の出がかなり少ない状態が続いている。今のところ景気の上昇感を感じる事ができず、先行きは良い感じはしない。どうしたら良いか分からない状態である。   |
|                            | □        | 衣料品専門店（経営者）         | ・正直なところ分からない。新型コロナウイルス次第である。   |
|                            | □        | 観光型ホテル（代表取締役）       | ・先行きの予約数は芳しくない。春の修学旅行もキャンセルが出た。例年行われている団体旅行もキャンセルとなった。第4波を警戒して、旅行をする感じではない。Go To Travelキャンペーンもやるのか、やらないのかははっきりしないので、旅行者も待っている状態である。                            |
|                            | □        | 旅行代理店（マネージャー）       | ・緊急事態宣言が解除され少しずつ企業出張、個人旅行も増えてはいるが、それと比例するように新型コロナウイルス感染者も増えている。またストップが出る日も遠くない。  |
|                            | □        | 住宅販売会社（代表取締役）       | ・建築請負契約待ちの案件が多く、当面の建築受注高は見込めそう。  |
|                            | ▲        | 一般小売店 [酒]（店長）       | ・緊急事態宣言解除後、また新型コロナウイルス感染者が急増しているため、再び時短要請などが出る可能性がある。  |
|                            | ▲        | 通信会社（サービス担当）        | ・新型コロナウイルスの影響を多少受けると予想している。  |
|                            | ▲        | 通信会社（営業担当）          | ・今月は学生需要もあり好調だったが、今後はプラス要素がないのでやや右肩下がりにすると予想している。  |
|                            | ×        | 商店街（代表者）            | ・現在流行中である新型コロナウイルスの終息の目安がつかないと、安心して街に出られないため、営業にもいろいろ支障を来すとみられる。時短の影響もあり、早めにワクチンで少しでも安心できる状態が来ないと、経済の回復は難しい。   |
|                            | ×        | その他飲食 [居酒屋]（経営者）    | ・緊急事態宣言が解除されてから、新型コロナウイルスの感染者数がリバウンドでどんどん増えており、再度官庁、大手企業の会食自粛や、飲食業への時短要請があると壊滅的な打撃を受ける。給付金の延長、事業規模による配分率の適正化を図ってもらえないと、個人店は働かなくても利益が出て、中大型店は資金がひっ迫して廃業に追い込まれる。 |
|                            | ×        | 観光型ホテル（企画担当）        | ・ホテルの3月の販売室数は前年比36%減なのに対し、3月末時点での6月の予約室数は前年比51%減と、マイナス幅が大きくなっている。  |
| 企業                         | ◎        | －                   | －  |

|                      |   |                 |  |
|----------------------|---|-----------------|--|
| 動向<br>関連<br><br>(沖縄) | ○ | 窯業土石業（取締役）      | ・民間工事の需要は低調が続くが、公共工事の需要は若干増加傾向にあり、現状と比較し受注増加が見込める。   |
|                      | ○ | 輸送業（代表者）        | ・宮古島、石垣島の建設関連は、新型コロナウイルスの感染も落ち着く状況下で、官需部門においては宮古島の陸上自衛隊関連を中心に終盤となっている。ただし民需部門は、2月に起工したホテル等を象徴に回復が期待される。ただし、米軍基地関連で投入される船舶の供給過多が進めば、一段と厳しい競争が予想される。 |
|                      | □ | 建設業（経営者）        | ・高価格帯の引き合いは増えてきたが、契約に至るまではまだまだ時間が掛かる。  |
|                      | □ | 広告代理店（営業担当）     | ・現状の景気は決して良い状態ではない。県内企業の販促活動に対する意向をうかがっていると、新型コロナウイルスの終息が見通せないことから、しばらくは現状のまま推移するものとみられる。  |
|                      | □ | 会計事務所（所長）       | ・新型コロナウイルスの感染流行、収束の流れが定着しているため、特に好材料も悪材料もないのではないかと。  |
|                      | ▲ | 食料品製造業（役員）      | ・最近の新型コロナウイルス感染者の急増と変異種の増加による不安に加え、沖縄県の緊急事態宣言再発出による自粛がありうるのではないだろうか。   |
|                      | ▲ | 輸送業（経営企画室）      | ・新型コロナウイルス感染者が3月末に掛けて増えている状況のなか、5月の連休までに県がどのような対策を講じるかによって飲食店関連の売上に影響が出ると考えられる。一方、その他産業は特に影響は受けずに変わらないものとみられる。                                     |
|                      | × | —               | —  |
| 雇用<br>関連<br><br>(沖縄) | ◎ | 学校〔専門学校〕（就職担当）  | ・引き続き求人数の増加が見込まれる。   |
|                      | ○ | 人材派遣会社（経営者）     | ・新型コロナウイルス禍で厳しい状況が続いているが、ワクチン接種の状況に合わせて周辺企業も少しずつ活動を再開させていくと考えられる。  |
|                      | ○ | 人材派遣会社（総務担当）    | ・人の動きが増加してきているようにみられる。   |
|                      | ○ | 求人情報誌製作会社（営業担当） | ・比較的求人数が増加する時期になる。   |
|                      | ○ | 学校〔大学〕（就職支援担当）  | ・緊急事態宣言が明けて飲食店への出入りが増えているので、景気は良くなりつつあると考える。しかし、飲食店関係の求人数の伸びには直接結び付いていない印象を受ける。  |
|                      | □ | —               | —  |
|                      | ▲ | 求人情報誌製作会社（営業）   | ・3月は就職活動が活発な時期でもあり、それと比較すると6月は落ち着くことが予測される。現在第4波の兆しもあり、観光シーズン向けの採用活動への影響が出てくるかと予測する。   |
|                      | × | —               | —  |